

2026年度事業計画

1 事業概要

1.1 事業方針

世界各地で発生している地政学的対立や経済安全保障という言葉が身近に感じられる昨今、世界経済は先の見通せない混沌とした状況となっています。国内では、物価上昇と賃金上昇への対応や、労働力不足への対応も切迫した状況です。さらに、気候変動による影響も豪雨災害のみならず大規模な火災の発生など、ギアが一段上がったような状況となっており、カーボンニュートラルの実現も喫緊の課題と言えます。まさに企業や社会が解決すべき課題は山積しています。

そのような中で、昨年開催した「ひろしまITフェス2025」では、約40社の企業・団体からの協賛を頂き、各社の最新の製品・サービスの展示を頂きました。さらに、2日間で8コースの講演・セミナーも開催した結果、来場者は1,500人を超える盛況ぶりとなり、デジタル技術を活用して山積する課題を解決したい、あるいはデジタル技術を活用したイノベーションを推進したいと言う、期待の高まりが表れた結果だと実感できました。

この期待に応えるために、広島県情報産業協会に集う私たちは、個社ごとの能力を高めることと、各社の不足する部分を互いに補完・協力し合い、山積する課題に向き合っていくことが肝要であると考えます。そのことが地域産業全体の発展への貢献にも繋がり、当協会の設立趣旨ならびに「HIAのビジョンと戦略」に沿うものと考えます。

2026年度は「ひろしまIT総合展」の開催年にあたります。昨年実施した「ITフェス」での成果と反省をもとに、より時代のニーズに合わせて更なる進化を遂げるべく、開催内容を検討していきたいと思えます。

また、今年度は役員改選の年にあたります。新たな体制のもとでも、HIAビジョンと戦略の実現に向けて協会全体で活動内容を模索し、多くの会員企業の皆様が参加し、相互に交流して頂けるような活動を展開して参りたいと思えます。私たちは地域や会員各社にとって、より有意義な組織となることを目指して活動してまいります。会員皆様方の積極的な参加をお願いします。

<HIAビジョンと戦略>

(1) ビジョン

- ・ 会員企業の成長と高収益化を実現する
- ・ ITを中核技術として産業・生活におけるイノベーションを牽引する
- ・ グローバル化する成長市場への対応を通じ、情報通信産業の健全な発展と広島県の産業振興に寄与する

(2) 戦略

- ・ 新たなIT潮流のキャッチアップ
- ・ 激変する世界情勢への対応
- ・ 山積する社会課題の解決へ向けたデジタル技術の活用
- ・ 高付加価値な事業転換への対応
- ・ 情報技術・経営力の強化に資する人材育成

1. 2 重点事業

(1) 「ひろしまIT総合展2026」の開催

「ひろしまIT総合展2026」を10月に開催いたします。開催の形態や内容については時代のニーズにマッチしたものとすべく、「ITフェス2025」の成果と反省を踏まえて企画委員会が中心となって検討します。最先端のIT技術トレンドに関する講演・セミナー等を通じ、山積する社会課題の解決に向けた手がかりとすると同時に、HIA参加各社の新たなビジネスの創出に向けたヒントとすることや、参加各社がお互いに情報を交換しあい、互いに協働することで社会課題の解決に向けて取り組むきっかけづくりの場を提供します。皆様の積極的な参加をお願いします。

(2) 新たなビジネスチャンスへの対応

経営委員会において、広島県、広島市、中国経済産業局、中国総合通信局や各企業団体、大学や専門学校などの教育機関との交流を通じて、最新の情報提供や新たなビジネスモデルの構築、DXの推進を目的としたセミナーの開催等を企画し、新たなビジネスの拡大を図り、ICT企業経営者を支援します。

(3) 先端的IT技術のフォローアップ

技術委員会及びHiBiS特別委員会において、IoT、生成AI、ロボティクス、5G等の最新の技術動向の研究に加え、Web3.0、メタバース、都市OSなど、さらなる新なるたな潮流とIT技術の研究を進めてまいります。一方で多様化するサイバー攻撃への対応や、ディープフェイク等の新たな脅威への対応についても検討を進めてまいります。

(4) 優秀なIT人材確保のための支援

人材開発委員会において、高度なIT人材やイノベーション人材の育成やリスクリング等によるIT技術者全体の母数の拡大支援など、会員企業の深刻な課題であるIT人材確保のための支援活動を推進し、さらに会員企業の経営者向けのセミナーの開催などを通じて、会員企業の経営力の強化に貢献します。

(5) 会員同士の交流と会員増強

当協会ホームページのビジネス掲示板の活性化や、広報活動を通じて会員数を増強し、広島県下のIT企業の組織化率の向上（会員の増強）に取り組みます。また、会員の皆様にとって当協会の活動が魅力的なものとなるよう、各委員会における活動を工夫し、さらに協会全体で行う催事の内容を工夫するなど、多くの会員企業の皆様にご参加いただける取組を推進します。

(6) 他の団体との連携

全国地域情報産業団体連合会、日本IT団体連盟、情報サービス産業協会、組込みシステム技術協会、各県の情報産業協会などとの交流や連携を通じて、当協会のプレゼンスを向上させるとともに、当協会の活動の幅を広げて会員にとって魅力あるものとしします。

2 事業計画

2.1 会議の開催

重要議案審議のため、つぎのとおり会議を開催します。

- | | | |
|----------|-------------------------|----|
| (1) 通常総会 | 年1回 | 5月 |
| (2) 臨時総会 | 必要に応じて | 随時 |
| (3) 理事会 | 原則として、毎月第2火曜日（8月、2月は休会） | |
| (4) 三役会議 | 必要に応じて | 随時 |
| (5) 各委員会 | 必要に応じて | 随時 |
| (6) 各部会 | 必要に応じて | 随時 |

2.2 委員会活動

経営委員会

1 事業方針

物価上昇やエネルギー価格の高止まりに加え、人材不足の深刻化など、中小企業を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いています。広島地域においても若年層の都市部への流出や人材確保の難しさが見られ、企業の持続的な成長に向けた経営課題への対応が求められています。

また、社会環境や市場動向の変化により、企業の事業活動や経営の進め方にも新たな工夫が必要となっています。企業には経営の効率化とともに、新たな事業機会の創出に向けた取り組みが求められています。

経営委員会では、企業経営に関する知見を深める機会を設けるとともに、セミナーの開催などを通じて、会員企業の課題解決や新たな挑戦を後押しする活動を進めていきます。

経営委員会では、会員企業の交流と学びの場づくりを通じて、地域産業の発展に寄与する活動を推進します。

2 事業計画

(1) 定期委員会の開催

- ・会員企業の経営層に加え、中堅社員や次世代人材も含めた交流や連携の機会を設けます。
- ・委員会活動に関する企画や運営について協議します。
- ・企業経営の参考となるテーマや、新たな挑戦のきっかけとなる内容を取り上げたセミナーを2回開催します。

(2) マーケティング部会（研修会の実施）

企業を取り巻く環境は、物価高騰や人材不足、賃金上昇への対応など、多くの課題を抱えています。また、市場環境の変化により、企業経営や事業活動の方向性について新たな視点での検討が必要となっています。

マーケティング研究部会では、新たな事業機会の創出や経営の視野拡大をテーマに、参加者同士の対話やグループ討議を取り入れた研修会を開催します。参加者が主体的に関わる形式とすることで、経営に関する気づきや学びを深めるとともに、会員企業間の交流の促進を図ります。

(3) 会員交流の促進

正会員および賛助会員相互の交流を促進し、企業間の連携の機会を広げることが目的として、各種活動を通じた会員企業同士のつながりづくりを進めます。

また、本年度は2年に1度開催されるIT総合展の開催年でもあり、県内外の企業や関係機関が集まる重要な機会となります。委員会としても会員企業の交流の観点から関連する活動に関わり、会員企業の事業機会の拡大につながる取り組みを進めます。

技術委員会

1 事業方針

会員がIoT、AI（生成AI含む）、XR、ロボティクス等、最先端の知識や実装技術を習得することを目的としたセミナー等の開催や各種情報提供及び委員会参加企業の経営に資する見学会、展示会の視察等を実施します。また、セミナー等の企画立案を中心に毎月委員会を開催し、メンバー同士の意見交換を行います。他委員会とは、両委員会にとって有益な情報共有ができるよう、セミナーなどを通じた交流を企画します。

活動をより効果的に推進するため、IoT部会を廃止し、技術委員会本部の直営とします。

2 事業計画

(1) 定例委員会の開催

- ① 最新技術情報の交換を行います。（当番制による情報提供）
- ② 協会が主催する各種行事への対応を協議し遂行します。
- ③ 活動計画を協議し実行します。

(2) セミナー等の開催

- ① 年4回開催予定のセミナーで会員に役立つ情報を提供します。
テーマとしては、IoT、AI（生成AI含む）、XR、ロボティクス等の先端技術を中心に企画します。
- ② 委員会メンバーが相互に技術情報を提供するミニセミナーを開催します。
- ③ 委員会参加メンバーの経営に資する見学会を企画し実施します。
- ④ 最新の技術動向を得るために、県外開催の展示会の視察を企画します。

(3) 「ひろしまIT総合展2026」（仮称）

「ひろしまIT総合展2026（仮称）」の実施に向けて、セミナーの講師招聘等を企画委員会と協力して検討します。

人材開発委員会

1 事業方針

高度なIT人材やイノベーション人材の育成や、リスクリング等によるIT技術者全体の母数の拡大支援、会員企業の深刻な課題であるIT人材確保の為の支援活動を

進めます。高収益型事業構造を実現する為の経営者（社長，役員，幹部等）の育成（事業を継続する，知識を身に着ける）に取り組めます。

2 事業計画

(1) IT人材の育成，支援

デジタルトランスフォーメーション時代の人材には，アナログからデジタルへの変革を推進し，データを戦略に展開する等，企業環境の変化を的確に捉え，変革を支援できる高度なスキルが求められます。

これまでに無い人材の雇用や育成をどのように進め，業績につなげてゆくか，新しい視点での会員企業の人材像に資する情報提供を行います。

(2) 経営者向けの交流会の開催

高収益な事業構造を実現するため，社長，役員，幹部などの経営層の方々を対象に交流会を開催します。この交流会では，経営上の重要な課題，他社の取り組みや考え方，課題解決のヒントを得ることを目的とし，会員企業の経営力向上につながる場を提供します。

HiBiS特別委員会

1 事業方針

HiBiSのミッションである「広島におけるインターネットを活用したビジネスの活性化」については，インターネットが完全に基盤インフラとなっている昨今の情勢を鑑み，産・学・官の連携による技術の研鑽，利用の実験，活用の実践を行うための場であることに立ち返りを図ります。これまでの各大学の連携や会員同士の交流をさらに強化して，「広島発の活動」を支援していけるよう取り組んでまいります。

まず，HiBiS内外及び部会の枠を超えた情報交換や親交を深める場として「ITオープンセミナー」を年2回企画する予定です。昨今のITトレンドに即した，生成AIを始めとする最新テクノロジーをテーマとし，最新事例や知見の共有を図る事でコミュニティの活性化と進展を促進します。

「HiBiSインターネットビジネスフォーラム」については，昨年は学生のビジネス・アイデアに絞り開催しましたが，2026年度ではIT活用によるビジネスに取り組まれている企業からのビジネス事例募集も再開いたします。地域における優秀なビジネス事例を発掘するとともに，ICTビジネス研究会主催の全国大会「Japanビジネスデザイン&アクションアワード」への応募に向けてブラッシュアップする場として活動します。フォーラムについてはインターネットに限定せず広く募集し，コンテストの開催を図ります。

インターネットセキュリティの分野では，引き続きランサムウェアの深刻な被害に加え，なりすまし詐欺の多様化，高度化が進んでいます。広島県の企業および委員会の会員組織が直面する，情報セキュリティに関する課題の解決と安全なインターネット活用を目的として調査・研究と情報発信に取り組めます。主催イベントではタイムリーな情報提供はもとより，講師と聴講者の間でより密度の高い情報交換や交流が可能となるイベント開催に取り組めます。昨年と同様，独立行政法人情報処理推進機構

(IPA)と連携して「セキュリティ・キャンプ2026ミニ(広島開催)」の実施を計画しております。

以上のように、今年度もHiBiSは広島発のITビジネスやベンチャー企業の発掘を行う事と、積極的な情報交換・交流を行う事で業界及び地域社会の情報化・高度化に取り組んでいきたいと考えております。

2 事業計画

(1) 3つの部会活動

- ① DX・ITトレンド研究部会
- ② ビジネスモデル研究部会
- ③ インターネットセキュリティ部会

(2) ITオープンセミナー

HiBiS内外および部会の枠を超えた情報交換や親交を深める場として、ITオープンセミナーを年2回開催する事を目標とします。

本セミナーでは、生成AIを始めとする最新のテクノロジーをテーマに、第一線で実践的な開発・活用を行っている開発者や企業をゲストスピーカーとして招き、最新事例や知見の共有を図る事で、コミュニティの活性化と進展を促進します。

また、セミナー及び懇親会を通じてHiBiSの活動を広く発信し、新規入会の促進につなげます。

(3) HiBiS ITビジネスフォーラム(仮)

今までは、「インターネットビジネスに取り組まれている企業及びインターネットビジネスに関心を持つ学生」を対象としていましたが、これを「ITを活用した企業及び学生のビジネス・アイデア」と再定義した上でフォーラムを開催します。

ICTビジネス研究会主催の全国大会「Japanビジネスデザイン&アクションアワード」への応募に向けて、学生アイデアをブラッシュアップする場として活動します。企業のビジネス事例についてもインターネットに限定せず広く募集し、コンテストの開催を図ります。

(4) セキュリティ・キャンプ2026ミニ(広島開催)

独立行政法人情報処理推進機構(IPA)およびセキュリティ・キャンプ実施協議会は、次世代を担う日本発で世界に通用する若年層の情報セキュリティ人材を発掘・育成するため、産業界・教育界を結集した講師によるセキュリティ・キャンプを実施し、それを全国的に普及・拡大する取組みを進めています。HiBiSではこの取組みと連携して昨年に引き続き「セキュリティ・キャンプ2026ミニ(広島開催)」を開催する予定です。

(5) インターネットによる情報提供

Webサイトを活用してHiBiSの活動状況を周知します。さらに、現在のHiBiSのサイトデザインが古くなっていることから、リニューアルを計画します。

総務委員会

1 事業方針

事業計画と予算の立案・執行の本部機能を発揮し、各委員会の活動を側面より支援していきます。具体的には事業計画および予算・決算の取り纏め、各種会議の取り纏め、行政・外部団体とのパイプ役、更に各委員会に属さない業務も含め幅広い業務を事務局と連携して行います。

また、総務部長会では引き続き会員企業の労働環境向上や働き方改革推進に向けて、労務関連、法改正等についての勉強会を実施します。

交流部会では会員の情報提供・情報交換を目的として、通常総会等で記念講演会、懇親会を開催するとともに、会員相互の親睦を深めるため、イベントを企画します。

また、ビジネス交流会の開催など会員以外の方々との情報交換・交流の場の提供に努めます。

広報部会では協会の活動を内外に伝え理解いただくと共に、協会を活性化するための広報活動を行っていきます。

活動をより効果的に推進するため、海外視察部会を廃止し、総務委員会本部の直営とします。

2 事業計画

(1) 総務委員会

- 事業計画と予算の執行に関わる業務全般
- 総会・賀詞交歓会の開催

(2) 総務部長会

- 総務部長会の開催（年4回程度）

(3) 交流部会

- 記念講演会、懇親会の開催（総会、賀詞交歓会）
- 会員親睦行事の開催
- ビジネス交流会の開催（年2回程度）

(4) 広報部会

- 情産協ニュースの作成
- 情産協ホームページの運営
- 情産協SNSの運営
- 協会会員向けのメールでの情報提供
- 「ひろしまIT総合展2026」（仮称）の広報活動

企画委員会（IT総合展準備委員会）

1 事業方針

「ひろしまIT総合展2026」開催に向け、事業計画と企画を進めています。
昨年の「ひろしまITフェス2025」のさまざまな新しい取り組みの実績を活かし
さらなる、先進的な展示会を目指します。行政や団体とも連携し、広島
のIT業界と地域産業の発展に努めます。

2 事業計画

- (1) 準備委員会の組織編制
- (2) 準備委員会の開催
- (3) 行政機関、関連団体との連携協議
- (4) 開催企画書（案）、収支予算（案）の作成
- (5) 開催当日の運営